

2021 年度 自己点検・評価報告書

社会連携・社会貢献評価分科会

2022 年 3 月

基準9 社会連携・社会貢献

- ・ 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。

【1】2020年度の自己点検・評価および外部評価で課題となった事項

特になし

【2】2021年度の方針・改善計画（および中期的な改善計画）

- ・ 大学コンソーシアム八王子、ネットワーク多摩との連携活動の強化
2021年度より副センター長1名を追加。センター長を中心に各部門と連携を取りつつ、大学コンソーシアム八王子、ネットワーク多摩との積極的な連携活動を展開する。
- ・ 夏季大学講座も含め、オンラインでの公開講座の開催を検討。また新たに地域住民を対象とし、センター主催で地域向け公開講座を開催する。
- ・ 地元の小中高等学校と留学生との交流イベントや、箱根駅伝で活躍した陸上部等、クラブや学生団体と地域住民との交流イベントを推進する。
- ・ 産業界への積極的な働きかけにより、受託研究・共同研究等産学連携収入の前年度比プラス100万円を目指す。
- ・ 知財については国内出願3件、国際出願1件を目標とするとともに、企業との連携強化により知的財産権の事業化に取り組む。
- ・ 学生、教職員向けの事業化支援セミナー、学生を対象とした創価大学ビジネスコンテストを実施する。

【3】2021年度の方針の点検・評価と2022年度以降の方針

- ・ 大学コンソーシアム八王子学生企画補助事業
2021年度は大学コンソーシアム主催の学生企画補助金に3件が採択。特に「文学部桑都プロジェクト」は、くまざわ書店でのシュリーマンコーナーの設置、シュリーマンの八王子訪問史、シュリーマンの母国であるドイツと八王子にゆかりの肥沼博士の展示、桑都として栄えた八王子の魅力紹介、東京富士美術館で開催された古代エジプト展とのコラボ企画、八王子駅前商店街「都まんじゅう」で「シュリーマン」の販売等、コロナ禍で地域での活動が制限される中、短期間で様々な地域連携活動を展開した。
- ・ 大学コンソーシアム八王子学生発表大会
2021年12月に開催された第13回大学コンソーシアム八王子学生発表会において、学生が八王子市長へ直接提案！部門で法学部中山ゼミが最優秀賞、観光セッションで法学部前田ゼミが最優秀賞を受

賞、他 8 件が入賞を果たした。

- ・ネットワーク多摩

昨年度は中止となり 2 年ぶりの開催となったネットワーク多摩第 7 回「多摩の学生 まちづくり・ものづくりコンペティション 2021」において、経営学部安田ゼミが一昨年に続き最優秀賞を受賞し、見事 4 連覇を達成した。

- ・夏季大学講座

昨年度、コロナ禍のため中止となった夏季大学講座を今年度はオンラインで開催。全 12 講座を約 4,000 名が受講した。

- ・地域・産学連携センター主催地域向け講座

2022 年 3 月 21 日に地域・産学連携センター主催の地域向け講座として「文学部桑都プロジェクト～シュリーマン生誕 200 周年を記念した八王子まちおこし～」をオンラインで開催した。

- ・小学校への留学生派遣事業

八王子市教育委員会が行っている小学校と留学生との交流事業により、5 名の留学生が八王子市立横川小学校での交流活動を行った。

- ・学校インターンシップ

2021 年度は八王子市内の小中学校 19 校、立川市内の中学校 2 校で行われた学校インターンシップ活動に 68 名の学生が参加した。

- ・受託・共同研究

2021 年度企業等からの受託研究・共同研究による収入は約 280 万円と昨年度の約 500 万円から大幅な減少となった。

- ・知的財産権

2021 年度は国内出願 5 件（内、PCT 出願からの国内再指定 2 件）外国出願 1 件の特許出願を行い、新たに 2 件の特許が登録された。また、特許 4 件について株式会社コアシステムジャパンとの間で実施許諾契約を締結した。